



おかやま 地域づくり通信



「第3次岡山市協働推進計画策定ワークショップ」の様子

目次

- | | | |
|---|--|---------|
| 1 | 「第3次岡山市協働推進計画」策定に向けて | ➡ P2, 3 |
| 2 | R7年度市民協働推進事業のご紹介 ～ ホームスタート事業 ～ | ➡ P4 |
| 3 | 地域課題解決の「一歩」を応援！ 区づくり推進事業 活用ガイド | ➡ P5 |
| 4 | 実施報告
地域活動リーダー養成講座 / 岡山市災害ボランティアネットワーク | ➡ P6 |
| 5 | 頼れる専門家 ご紹介します ～市民活動支援アドバイザー派遣で活動をステップアップ！～ | ➡ P7 |
| 6 | ESD・市民協働推進センターの活用方法
SNS紹介 / スタッフ紹介 | ➡ P8 |

「おかやま地域づくり通信」は、岡山市民の「協働(※)」への理解と参加の促進を目的に、岡山市(ESD・市民協働推進センター)が発行する広報誌です。
※協働:同じ目的を達成するために、互いを尊重し、対等の立場で協力して共に働くこと

1 「第3次岡山市協働推進計画」策定に向けて

「岡山市協働推進計画」とは…

平成28年4月に改正された「岡山市協働のまちづくり条例」に定められている各種施策が計画的かつ着実に推進されるように策定された5か年の計画です。第1次(平成28～令和2年度)、第2次(令和3～7年度)を経て、令和8年度から第3次計画が開始される予定です。

※以下、「岡山市協働のまちづくり条例」からの抜粋
(推進計画)

第14条 市は、多様な主体による協働を推進するために、推進計画を策定するものとする。
2 市は、推進計画の定期的な評価を行い、その結果を公表するものとする。

NEW !

第1次 協働推進計画
(平成28～令和2年度)

第2次 協働推進計画
(令和3～7年度)

第3次 協働推進計画
(令和8～12年度)

計画の内容

	第1次計画	第2次計画	第3次計画
目的	(第1次・第2次共通) 多様な主体が協働して地域の社会課題解決の取組を行い、 豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現します		
基本方針	(1)人材、団体を育成し、活動を支援します (2)多様な主体のつながりの場を創出します (3)情報の発信と共有を進めます (4)市役所の協働化を進めます (5)成果を共有し、協働意識の醸成を進めます	(1)協働の主体となる新たな担い手を育てるとともに、その活動を支援します (2)活動団体の取組を活性化させ、多様な主体のつながりを創出します (3)協働の取組を広く情報発信し、市民活動が行いやすい環境をつくります	
基本施策	全13施策  例:「おokayama協働のまちづくり賞」の新設・普及  例:多様な主体で課題解決を考える場の提供 「課題解決ワークショップ」	全7施策  例:市職員への研修の実施  例:協働するための環境の提供 「災害ボランティアネットワーク事業」	策定中

計画の評価と策定

第1次協働推進計画の最終年となった令和2年の8月31日、計画の総括・評価と第2次計画への提案のためのワークショップが実施されました。当時はコロナ禍であったにもかかわらず、約30名の市民が参加し、たくさんの有益な意見が挙げられました。市職員と一部の市民だけで計画を評価し、策定するのではなく、あらゆる市民に計画づくりへ参画する機会が開かれていたのがこの計画の特徴です。



「第3次岡山市協働推進計画」策定ワークショップを開催しました！ 多数のご参加をいただき、ありがとうございました！



ワークショップの目的

令和7年度は、「第2次岡山市協働推進計画」の最終年です。ひとりでも多くの市民が協働による取組を通じて、地域の社会課題解決に取り組めるよう、新たな「第3次計画」を作成する年でもあります。

地域社会は、人口減少に加え、地域コミュニティの維持困難や格差拡大、環境・エネルギー問題、孤独・孤立の深刻化など急速に変化しています。これからの5年間で何を目指し、どのような行動を起こす必要があるのか、岡山に暮らす、あらゆる世代や立場の方々と意見を交わし、それぞれの知見を計画に反映させることで、より具体的かつ有意義な計画に繋げることを目的として開催しています。

当日の主な内容

● 第2次岡山市協働推進計画の結果報告

計画に基づく取組や数値目標の状況について報告。

● 第2次岡山市協働推進計画の検核

第2次計画に掲げていた「3つの基本方針」に対して、各々の体験を通じて感じたことや聞いたことなどのエピソードを付箋に記入。書いたものをグループ内で共有し、縦軸「5年間で良くなった・悪くなった」、横軸「基本方針から変えたい・残したい」の4象限に整理。

数値で表される定量的な評価に、定性的な評価を加えました。

● 第3次計画策定に向けた意見交換

第3次協働推進計画の基本方針に取り入れたいキーワードを考え、付箋に記入。グループ内でベスト3を選び出し、全体で共有。すべての中からひとつを選んで投票。第3次計画の基本方針の参考とします。

ワークショップの様子

当日は、岡山市内のNPO、公民館、大学、行政関係者、大学生など、総勢48名が参加しました。ボランティア活動への参加状況や、行政をはじめとする多様な主体との協働の状況、市民活動・地域活動を取り巻く環境についてなど、それぞれの立場で実感していることや、今後の在り方について、活発な意見交換がなされました。

計画策定スケジュール

ワークショップで出された意見をもとに、計画骨子を作成。R8年度開始に向けて、委員会や市民のみなさんとの協議を重ね、完成をめざします。

- 5月：第3次協働推進計画策定ワークショップ開催
- 8月：岡山市協働推進委員会で骨子案の審議
- 11月：岡山市協働推進委員会で素案の審議
- 12月：パブリックコメントの実施

12月頃に「第3次協働推進計画」のパブリックコメントを実施予定です。ぜひご意見をお寄せください。

岡山市市民協働推進事業とは…

岡山市の社会課題を解決するために行政との協働によって実施される事業に対して補助金を交付する制度です。補助期間は最大2年間で、補助期間が終了した後も岡山市の施策や団体の自主事業として取組を継続していくことを目指します。

事業名 ホームスタート事業(家庭訪問型子育て支援事業)

一般社団法人ぐるーん × 地域子育て支援課

解決を目指す課題

少子化・核家族化の進行やコロナ禍以降のリモート化などの影響で、社会で子どもを育てる機能が弱まり、子育て世代が孤立しやすくなっています。岡山市でも支援施策は強化されているものの、家庭の経済状況や時間的余裕の有無、既存制度活用への心理的ハードルや、支援者側のマンパワーの限界などから、制度の狭間に陥るケースの十分な解消には至っていません。

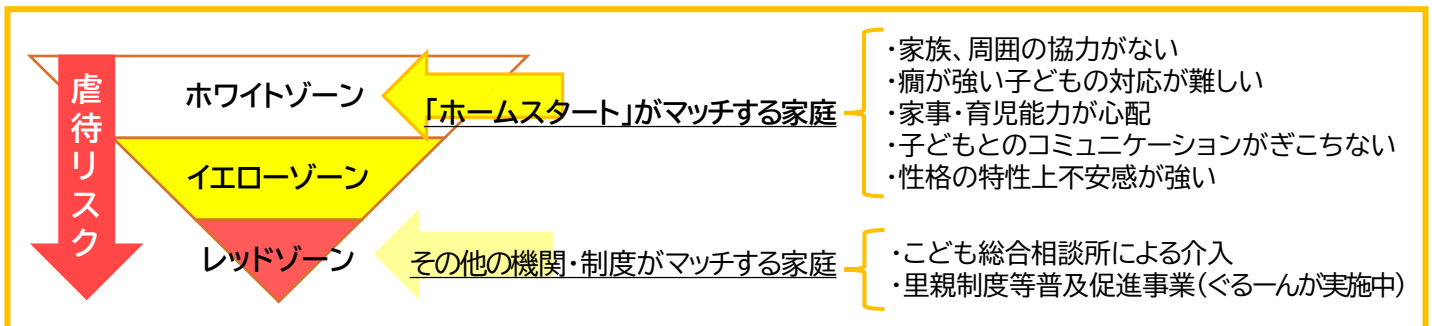
ホームスタート事業では、孤独で不安な育児にならない様に、また制度の隙間に入らない様にホームビジターと呼ばれるボランティアが訪問支援を行います。今回の協働事業では、そういった予防的アプローチを行うための支援体制構築を通じて、子育て世代の孤立解消を目指しています。

協働の取り組み

課題解決の方法(事業内容)

- 一般市民による親子支援を仕組化することで、不足する支援リソースを迅速に補う。同時に、子育て支援の孤立化を防止し、地域で子育てを支えるまちづくりを進める。
- 専門家ではない一般市民から、「オーガナイザー」「ホームビジター」と呼ばれる支援者を養成する。
- 広報用ウェブページの作成、リーフレットの作成と配布、メディアへの働きかけによって周知を図る。

【ホームスタート事業 概要図】



実施主体と主な役割

- 提案団体: 一般社団法人ぐるーん
 - ・ オーガナイザー、ホームビジターの養成
 - ・ 周知活動による、利用者拡大
 - ・ 広報用ウェブページ、リーフレットの作成、配布
 - ・ 健康づくり課、こども福祉課、こども総合相談所等への広報協力依頼 等
- 協働部署: 地域子育て支援課
 - ・ 児童館・子育て拠点等へのチラシの配架、おかやまし子育てアプリ、こそだてぼけっとの活用 等

約半年間での成果

- 利用者延べ数: 26家庭
- 利用者自己評価によるニーズ^(※)に対する充足度
 - (※) ニーズは、1家庭に対し複数回答可としている。
 - ・ 「充足」: 35 (97%)
 - ・ 「一部充足」: 1 (3%)
 - ・ 「変化なし」: 0 (0%)
- 協働により、団体だけでは情報や支援を届けられない家庭にもアプローチでき、利用者からも負担軽減に繋がったと感じられる声を聞いた。

実施団体紹介

ぐるーんは、抱っこやスキンシップを通じて、「心の幸せ」や「愛情」を子どもたちに届ける活動をしています。幅広い市民参加、企業参加を促しながら、虐待等で親と離れて暮らす子どもたちが家庭的な環境の中で成長できる社会の実現を目指しています。里親支援と御津高校での居場所カフェ「みつカフェ」も行っています。



3 地域課題解決の「一歩」を応援！ 区づくり推進事業 活用ガイド

岡山市区づくり推進事業[地域活動部門]とは、地域住民組織をはじめ、NPO法人やボランティア団体、学校・企業等多様な主体の協働をすすめ、地域課題を解決するための持続的な取組を支援する制度です。区民が主体的に協働し、解決のために活動することで、地域の課題解決力を育み、持続可能で暮らしやすい地域づくり、区のまちづくりを推進することを目的に補助金を交付し支援するものです。

補助額等	部門	地域活動部門
	事業区域	概ね小・中学校区の単位 ※活動の広がりが期待できる場合は、単位町内会等の規模での実施も可。
	補助限度額	250万円
	補助率	事業総額の1/2(50%)以内 ※新規事業の立ち上げ年度に限り、事業総額の4/5(80%)以内

岡山市区づくり推進事業は第1期(活動期間:4月～翌年3月)と第2期(活動期間:9月～翌年3月)の年2回募集をしています。

岡山市区づくり推進事業の申請の流れ

- ① 事業概要や事例を紹介する「募集説明会」を開催しています。(概ね12月と6月)
初めて申請される団体は、できる限りご参加ください。
- ② 岡山市区づくり推進事業助成申込書を作成し、期日までに市民協働企画総務課へ提出
(申込様式は、市民協働企画総務課で配布のほか、ホームページからもダウンロードもできます。)
- ③ 各区で実施される審査会にて、事業説明をしていただく場合があります。
- ④ 事業決定を受けたら事業スタート！
- ⑤ 事業完了後、「岡山市区づくり推進事業報告書」を作成し、市民協働企画総務課へ提出

事業の申込の留意点

まずは事前にご相談を！

- ★ 計画立案・予算作成など、事業内容についてのご相談に応じます。
事前にご予約の上、市民協働企画総務課、またはESD・市民協働推進センターにお越しください。
※ 新規で事業をスタートされる場合は、お手数ですが、必ずご相談をお願いいたします。



活用事例 ご紹介 「YMCプロジェクト」 申請団体:地域づくり団体YMC

活動の目的

少子高齢化や核家族化が進み、地域住民同士や世代間での交流が少なくなっています。また、御野小学校区は、多様な進学先が確保された地域であるため、子育て世帯が学校行事等で交流を持つ機会が少ないことも課題のひとつです。「YMCプロジェクト」は、地域活動に参加する人の平均年齢を引き下げ、活動主体の年齢層を拡大させることを目的に、新たに令和7年度から区づくり推進事業に採択された事業です。

働いている世代にも参加しやすい仕組みを構築し、異なる世代の人たちが関わり合える場を作ることで、世代を超えた地域住民のつながりを深め、一体感を高めることを目指しています。

活動の内容

YMCとは、「You Make your Community(あなたが創る、あなたの地域)」の頭文字を組み合わせたものです。若い世代が地域活動に興味を持って参加してくれるような企画の実施や、誰もが参加しやすい体制づくり・組織づくりを進めています。

令和7年7月20日に行われた「夏祭り 高架下横丁」では、焼きそばやかき氷の屋台の他、ヨーヨー釣りやベーゴマ教室も行われ、大人も子どもも楽しめる内容になっていました。100人分の屋台の準備に対して開始から1時間足らずでおよそ70人が来場しました。子どもからお年寄りまで幅広い世代の住民が訪れ、地域住民が世代を超えて交流する場になっていました。



【地域活動リーダー養成講座】

ボランティア体験で地域とつながる1日～知る・関わる・考える～

8月27日(水)、岡山市内の高校生・大学生21名が、「きょくりゅう地域みんなの居場所づくり実行委員会」の多世代交流事業に参加しました。当日は講師の岡田さんのお話から旭竜地域における地域課題とその現状について学ぶと共に、課題解決のための実際の活動や担い手の思いに触れる一日となりました。

一連の体験が、若い世代の「地域活動への参加の一步」となることを目指して企画・開催しています。

講 師

岡田 直子 さん(きょくりゅう地域みんなの居場所づくり実行委員会)

当日の様子

ボランティアとして参加した高校生・大学生が、子どもたちや地域の方と一緒に「そうめん流し」を行いました。学生が流したそうめんを子どもたちが笑顔で美味しそうに食べている姿が印象的でした。空き時間には学生が子どもたちの遊び相手となって、段ボール工作や人形遊びなどを楽しみました。

またイベント全体を通して、学生が子どもたちや地域の方と積極的に関わってくれたため、地域の方からも感謝の言葉をいただきました。この経験を活かして、今後も地域活動に進んで参加してくださると幸いです。

参加者の感想

地元で地域貢献ができて、とても嬉しいです。今後も旭竜幼稚園や地域での取り組み、ボランティア活動にたくさん参加していきたいと思います。

地域活動について詳しく知ることができて、すごく興味が湧きました。自分の住んでいる地域にこのようなボランティアがないか調べて参加したいです。



岡山市災害ボランティアネットワーク

災害ボランティア展

災害ボランティアセンター設置訓練・登録団体交流会

災害ボランティア展

岡山市災害ボランティアネットワークでは登録団体のパネル展示やデモンストレーション(実演)などによる、災害時のボランティア活動の紹介や、市民の皆さんに防災への意識を改めて持っていただくための展示会を開催しています。

パネル展示では「平成30年7月豪雨」に加え、今年度は「令和6年能登地震」でのボランティア活動も紹介されました。

またデモンストレーションでは、いざという時に役に立つ新聞紙で簡単に作ることができるスリッパや、小さな子どもが楽しみながらも避難時には何が必要になってくるのかを学ぶ事ができる「ぼうさいNURIE」も好評で、沢山の方に体験していただきました。



災害ボランティアセンター設置訓練・登録団体交流会

令和元年の発足以来、登録団体を対象とした交流会・研修会を毎年実施し、災害発生時の関係者間の円滑な連携に向けた知識・技術の取得と関係づくりを進めています。今年度は大規模災害発生時に設置される「災害ボランティアセンター」の設置訓練と登録団体同士の交流会を開催しました。

第一部は設置訓練として、北長瀬未来ふれあい総合公園を災害ボランティアセンターと仮定し、参加者自身で一から運営に必要なテントの設営、資機材の運搬及び設置、レイアウトや導線の確認などを行いました。

振り返りでは「場所がよい」「駐車場が近くてよい」との意見の一方、「待機場所が屋外だったので暑さ対策が気になる」「導線は一方方向の方がよい」との意見も出され、実際に設置をしてみなければ体感できないことが多く確認できました。

第二部では「防災・災害支援活動の資金調達について」「平時から防災への意識を保つためには」をテーマに、それぞれの参加団体の強みや情報を共有し、活発な意見交換を実施することができました。



市民活動支援アドバイザー派遣とは

制度の目的

市民活動・地域活動を促進し、地域課題の解決を図るため、市民活動団体の活動に助言等を行うアドバイザーを派遣します。

アドバイザー一覧

子どもの遊び場づくり・プレーパークの実施 美咲 美佐子さん（NPO法人岡山市子どもセンター）	事業評価による事業の改善・新規開発 高平 亮さん（NPO法人岡山NPOセンター）
イベントにおけるゴミの分別・削減 利根 弥生さん（NPO法人タブラ ラサ）	イベントの企画や広報における若者目線での助言 ノートルダム清心女子大学 学生の皆さん （ノートルダム清心女子大学 地域連携・SDGs推進センター）
親子で参加できる防災イベントの企画 村上 浩司さん（一般社団法人epoおかやま笑顔プロジェクト）	ITやWEBを活用した効率化アドバイス 奥田 修平さん（認定NPO法人ポケットサポート）
外国人住民とのよりよいコミュニケーション マハムド サビナさん（Femmeインターナショナル岡山）	資金調達の方法 高田 佳奈さん（公益社団法人岡山県文化連盟）

申請手順

申し込み

ESD・市民協働推進センターに派遣の申し込み

相談・調整

相談内容を基にアドバイザー、内容、日程等を調整

派遣

アドバイザーによる講義、座学、ワークショップ等を実施

フォローアップ

必要に応じて、追加の支援を実施

申請手続き

以下の書類をESD・市民協働推進センターへ郵送または持参でご提出ください。様式第1・2号は「つながる協働ひろば(右記二次元コード)」からダウンロードできます。

- ・ 市民活動支援アドバイザー派遣申請書(様式第1号)
- ・ 団体概要書(様式第2号)
- ・ その他必要と認めるもの

ぜひご相談ください！



新たなアドバイザーをお迎えしました！

村上 浩司さん(一般社団法人epoおかやま笑顔プロジェクト)

「一般社団法人epoおかやま笑顔プロジェクト」は、災害支援・防災教育・民間救急の3つを柱に活動しています。

被災地への物資搬送や炊き出し、患者搬送など、全国各地の災害現場で官民連携による支援を実施してきました。

防災教育では「防災とは想像」「地域力は防災力」を合言葉に、講演や訓練、研修を通して地域の防災力向上に取り組んでいます。

また、医療特化型の搬送が可能な高規格救急車を導入し、災害時の避難搬送や日常の医療搬送にも対応しています。

「楽しく」をコンセプトに、学び・考え・行動へとつながる防災イベントを実施しています。



ESD・市民協働推進センターでは、みなさまからのご相談を受け付けています！



- ・ 行政や他の団体と協働して課題を解決したい！
- ・ ESDやSDGsの要素を取り入れた活動を実践したい！
- ・ ワークショップの企画・運営をしてほしい！
- ・ 「岡山市区づくり推進事業」について知りたい！（詳細はP5）
- ・ 団体の活動や運営に関するアドバイスをもらいたい！（詳細はP7）

ESD・市民協働推進センターでは、ほかにも、岡山市の方針や市内で協働の取組を実践している団体についての情報提供を行ったり、市民活動、地域活動のスキルアップにつながる講座や、若者向けの体験講座を開催したりしています。また、広く市民のみなさんにESDやSDGs、協働の取組について関心を深めていただくために、フォーラムやパネル展なども開催しています。

最新情報は、「つながる協働ひろば」SNSやHPなどからチェックしてみてください。

令和7年度はスタッフ5名で運営しています。日頃は市役所本庁舎2FのESDセンターに勤務しています。各種講座やイベント、取材などでお会いすることもあるかもしれません。



みなさんの活動のお役に立てるよう、チーム全員で頑張ってまいります。よろしくお願いいたします。

「つながる協働ひろば」SNSも更新中！

「つながる協働ひろば」のFacebook・Xでは、ボランティア情報をはじめ、ESDやSDGsに関する講座・イベント情報のほか、団体の活動を支援するための助成金情報も掲載しています！

また、毎年募集している「岡山市区づくり推進事業－地域活動部門－」に選ばれた団体の活動紹介では、マスコットキャラクターの「のっぷ」が現地へ取材に向かい、レポートを作成しています。写真と共に記事を載せていますので、ぜひアクセスしてみてください。

みなさんの身近な地域で行われている活動を知り、つながりづくりの参考にしてくださいね！

ぜひ、「つながる協働ひろば」のFacebookとXをフォローしてね！
「のっぷ」のアイコンが目印だよ！



Facebook



X(旧Twitter)

【発行日】令和7年10月31日
 【発行元】ESD・市民協働推進センター
 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
 岡山市役所 本庁舎2階 市民協働企画総務課内
 TEL:086-803-1062 FAX:086-803-1872
 E-mail:esd-smc@googlegroups.com

「つながる協働ひろば」では、岡山市内の様々な団体の活動内容や協働の取組、イベント・ボランティア情報、支援情報などを紹介しています。

